

(別添 3)

【越生町】
校務DX計画

1. 1人1台端末（児童生徒用）の整備

埼玉県共同調達において、令和7年12月に端末を購入し、順次運用を開始する。

2. ネットワークの改善

- ・現在、町内小中学校の全校において、普通教室、特別教室、体育館でインターネットの接続が可能。
- ・文部科学省が示す学校規模ごとの1校あたりの帯域の目安（当面の推奨帯域）の値を参考に、令和8年度以降にネットワークアセスメント等から課題を特定し、順次改善策の検討を開始する。

3. 校務のデジタル化

ネットワークの集中管理化による学校 - 学校間、町教育委員会 - 学校間における文書連絡・資料送付が可能となっているため、令和7年度にはFAXでのやり取りを原則廃止するよう検討を実施する。

4. 1人1台端末の活用と個別最適・協働的な学びの充実

- ・児童生徒が1人1台端末を活用した個別最適・協働的な学びの充実には、教職員がソフトウェアを積極的に利活用することが前提となる。そのため、各ソフトウェアの使用法について、他の自治体の優良な事例を共有する研修を年数回実施する。
- ・休み時間や家庭学習等において、個人のペースに合わせてAIドリルを活用し、学習履歴をもとに復習や予習ができる環境を整備する。

5. 学びの保障

- ・欠席した児童生徒や感染症による学級閉鎖等、学校に登校して学習ができない状況が生じた場合に、オンラインで学習ができる体制を整備する。
- ・不登校児童生徒等については、希望があった場合に端末を活用した授業への参加・視聴の機会が提供できる体制を整備する。